

始



水道之利益

339  
258





339  
259

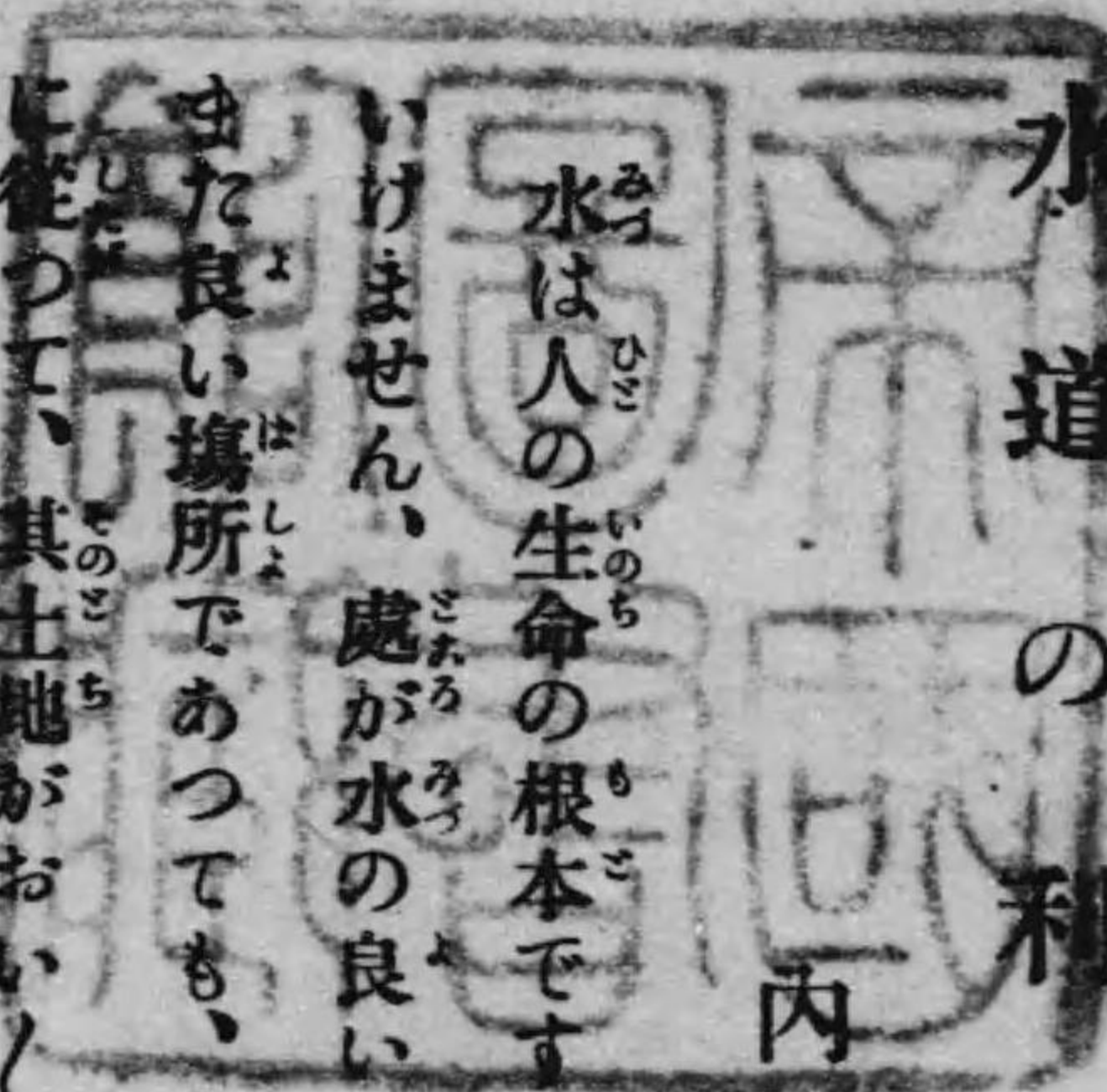
水道の利益



水道の利益

内務省衛生局編纂

水は人の生命の根本ですから、必ず良い水を飲まなければなりません、處が水の良い場所は、存外少ないものです。また良い場所であつても、人口が殖え、家屋の数が多くなると、其土地がおいしく汚れて來るので困ります、何んなに家のまわりを清潔に掃除して置いて、矢張段々に汚れるものです、斯様に汚れた土地から湧出す水を、飲んだり使



正  
永  
2.8.29  
寄贈

寄贈本



つたりして居るのは、衛生上最も危険なことです。

能く世間の人は『私宅の井戸水は奇麗だ』と自慢しますが  
眼で見ても奇麗な水が、屹度良い水だと思ふのは、全く大間違  
ひです、本當に良い水は少ないもので奇麗だと思つた水のな  
かにも、眼に見えぬ色々の細菌だの  
塵だの、其ほか種々さまざまの不潔  
物がまじつて居ます、故に僅に一滴  
の井戸水を顕微鏡でのぞいて見ても  
こんなに色々な動物だの、植物だの



細菌などが、其なかにまじつて居るではありませんか、また  
時によると、赤痢や、コレラや、腸チブスの様な、恐るべき  
傳染病のもとになる細菌もまじつて居ます、然し幸に、こん  
な危険な細菌がまじつて居ないでも、ほかの細菌が澤山居る  
やうな水では、いつ傳染病のもとになる細菌が、其なかに入  
りこむか知れませんが、夫れですから、平生斯んな水を飲んだ  
り、使つたりして居ると、いつ恐るべき傳染病にかゝるか知  
れませんが、實に油斷のならぬ事です。

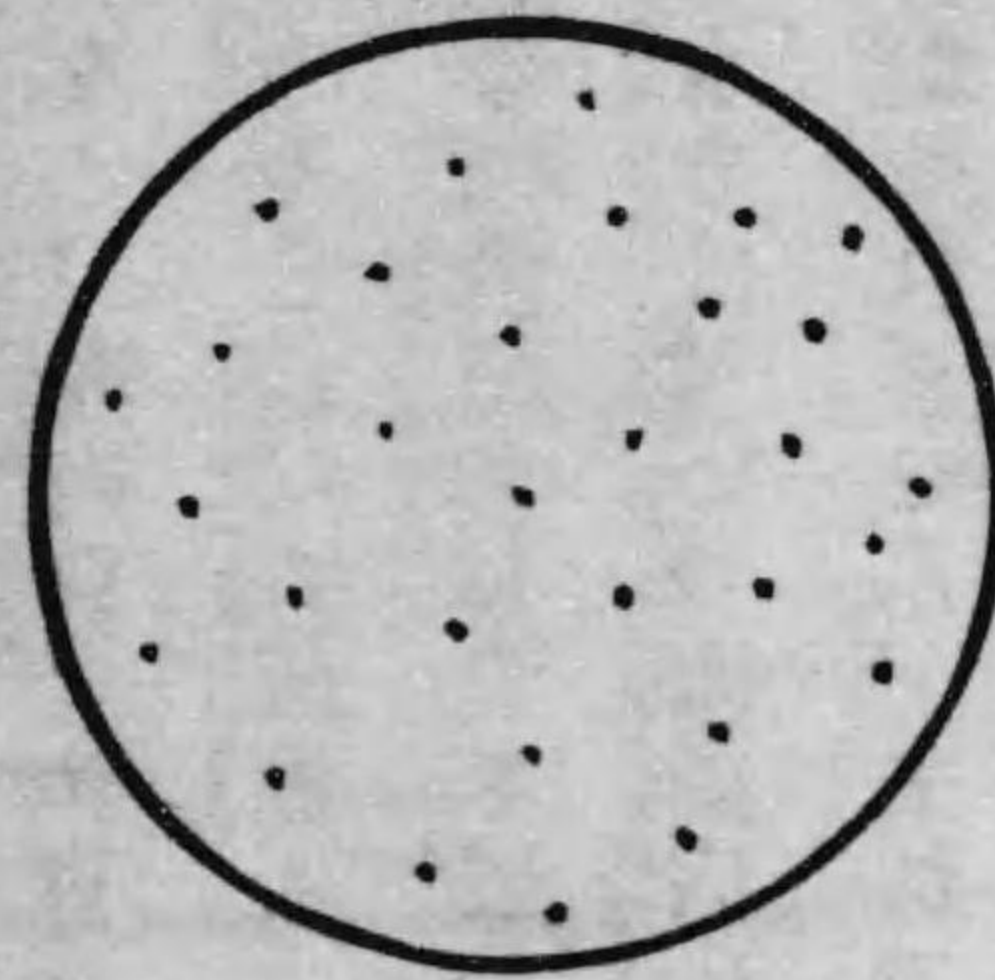
水道の水は、本當に良い水であります、故に此水は、誰が



飲むにも使うにも、最も安全です、水道の水は、何のくらの奇麗かと云ふに、其なかにまじつて居る細菌の數や、其他のものを、普通の井戸水に比べて見れば、直に明にわかります

四

水道の水



井戸の水



又水道の水が、腸チブスや赤痢のやうな、傳染病を豫防す

るのに、如何に大切であるかは、次ぎの様な東京にあつた實例を御覽なさい、上の圖は、腸チブス患者で、下の圖は、赤痢患者を表したのです、そうして上の圖でも、下の圖でも、白い方は、水道の水を、飲んだり、使つたりして居る人々がその病氣にかつたのを表し、白くない方は、水道の水を、飲んだり、使つたりして居ない人々が、その病氣にかつたのを表したのです。

五





此圖を見たら、平生水道の水を飲んだり、使つたりして居るものに、腸チフスや、赤痢の少ないことが、能くお分りに

なりましやう、然し水道の水を飲んだり、使つたりして居る人のうちからも、傳染病・患者が出るから、當にはならぬと云ふ疑ひを、起す人があるかも知れませんが、之れは水道の水から來たのでなく、全くほかの食物や、蠅などから、うつつたものであります。

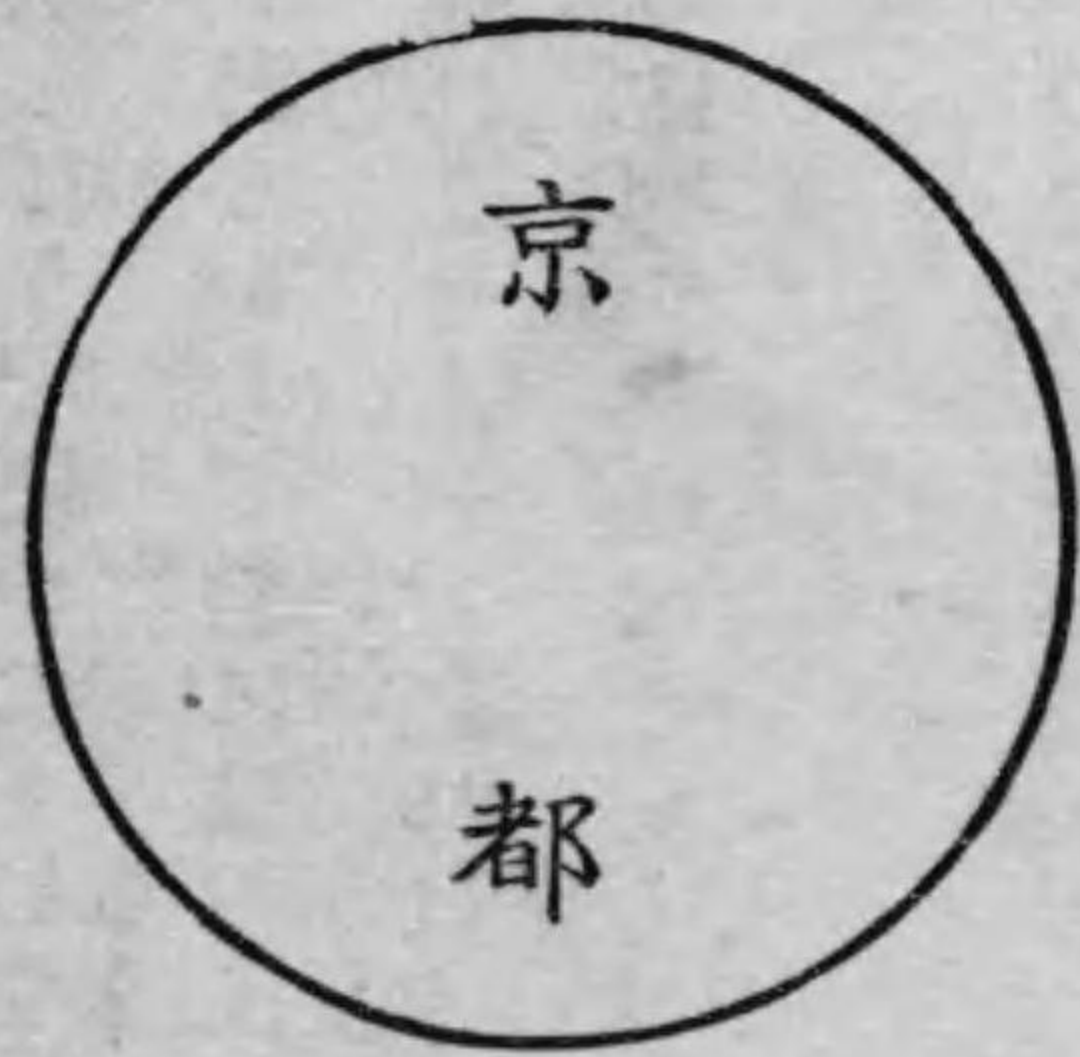
水道のある大阪と、水道のなかつた時の京都に於ける、腸チフス患者の比例をとつて見ると、人口一萬に對し、大阪に三名の患者があるとき、京都には凡そ十五名の患者がある割合で京都の方が大阪より五倍多いのです、京都市は近く人口



五十萬に達しますが、此割合でゆくと、毎年七百五十人つゝの、腸チブス患者がある譯です、これを圖で示せば、次ぎの様な割合になります。

八

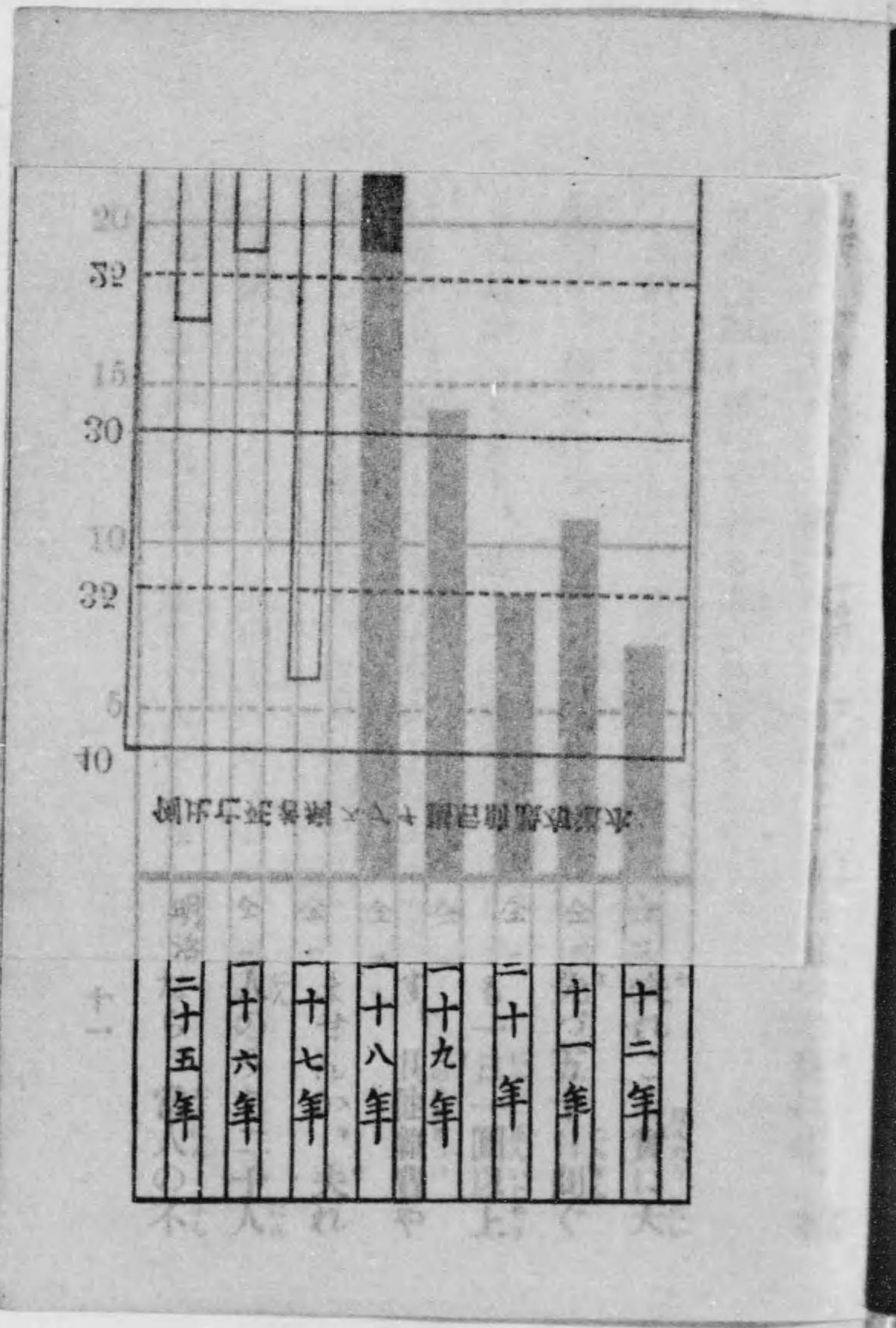
一口一人  
腸チブス患者  
對する



水道が普及たれば、恐るべき傳染病 患者の數の減るのは、確な事實です、次ぎの圖は大阪にあつた其實例をあげたもので、圖のうち            は水道が出来てからの死亡數で、また  は、水道が出来ないときの死亡數です、ごちらも人口十萬に對しての割合です。

九



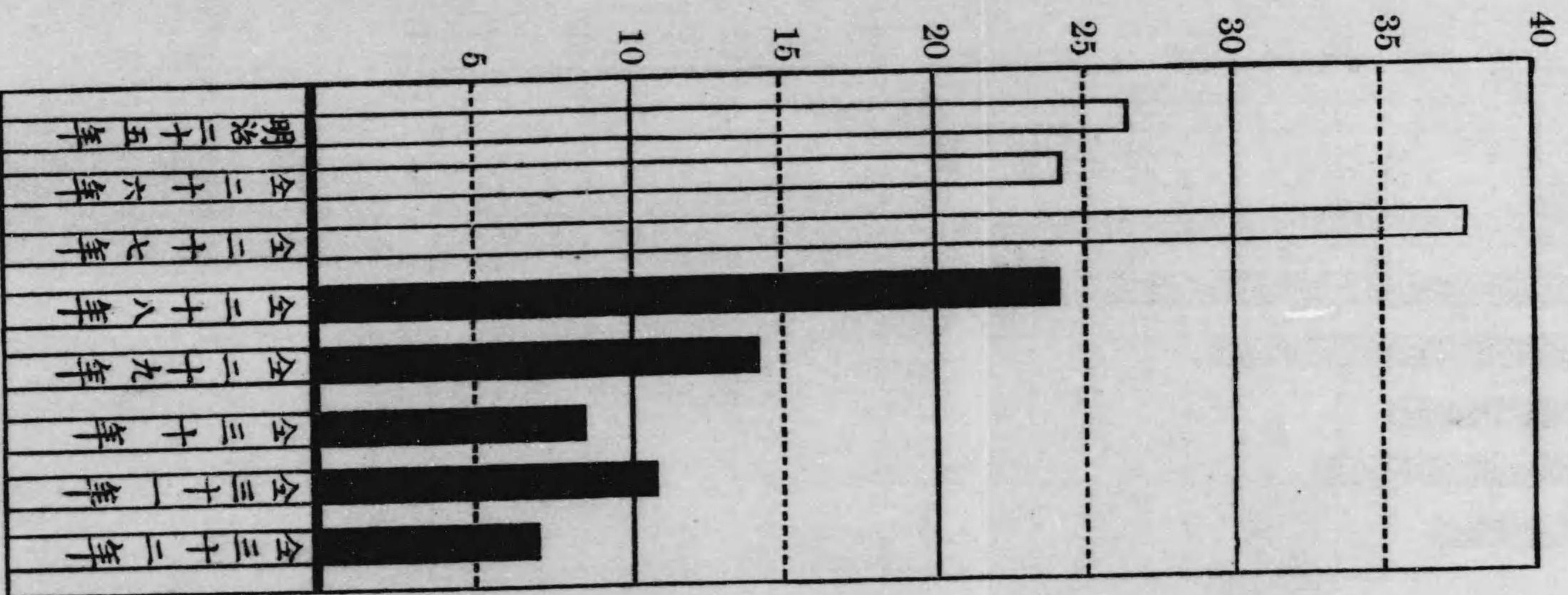


本館の出版部員数（昭和十一年）

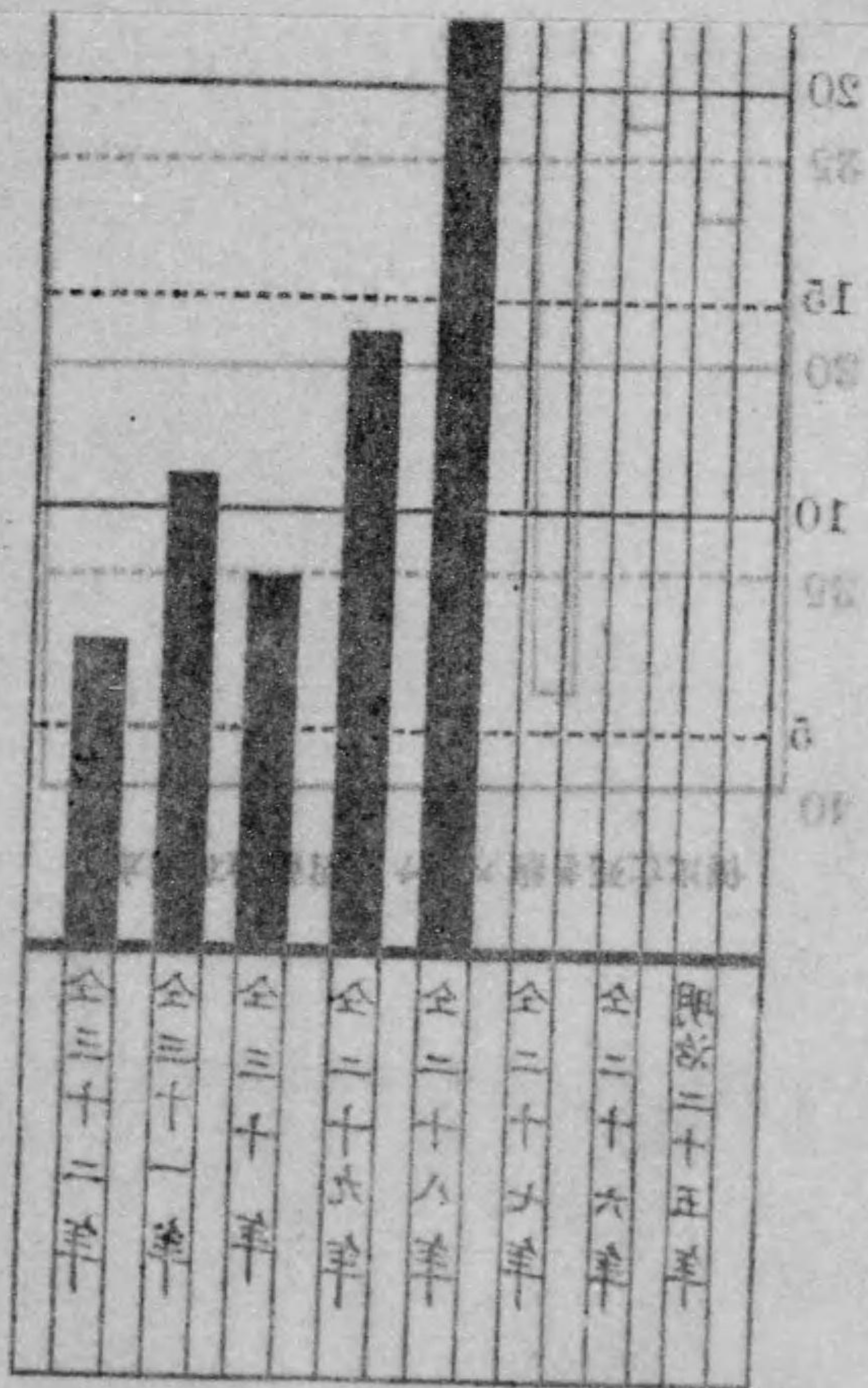
昭和十一年の出版部員数は、前年より若干増加した。これは、本館の業務の拡大と、新卒者の採用によるものである。また、社内研修の充実も、部員の質を向上させた。今後も、出版業務の発展に貢献するよう努める。



例比亡死者病スゾチ 屬后前設布道水







水道が出来てからは、水道が出来ない時に比べて見れば、年々死亡数が減つて居る事が分りまじやう。

人若し不幸にして、腸チブスに罹つたら、夫れこそ實に大變です、病床についてから全快るまでには、先づ五十日間ぐらゐるはかゝります、其うへ治療費は、少くとも一日一圓以上いるから、如何しても五十圓以上はかゝります、其他雑費や収入の減るのを見積ると、莫大な損ではありませんか、夫れでも癒ればまだしも、此病氣にかゝると、百人のうち二十人は死にますから、萬一此二十人のうちへ入つたら、當人の不



幸は勿論、一家の悲しみは何れ程でありましやうか。

平生水道の水を飲み、水道の水を使へば、衛生上至極安全なるばかりでなく、また外にも澤山利益があります、其あらしを次ぎに記しましやう。

- 一、衛生上大なる利益のある事は申す迄もありません。
- 二、ネジを一つひねれば、水は幾らでも出ますから、子供にも老人にも、人手をかりずに、水が使へます、大家では下女一人の仕事が違ひます。
- 三、水道を引いて置けば、流元に手桶や、水がめ、其他の容器を置かずに済みます。

器を置かずに済みます。

- 四、水道の水で洗濯すると、少しの石鹼でも奇麗になります
- 五、水道の水を使つて居ると、手足の荒れ方が少ない、婦人の手足を見て水道の水を使つて居る人か、或は堀井戸の水を使つて居る人かが、大概分ります。
- 六、水道のある家では、火事に入用な器械を整へて置けば、誤つて失火しても、大事に至らぬうち、直ぐ清止めることが出来ます。
- 七、水道の水で、食物を煮焚きすれば、早く腐る憂なく殊に



夏は御飯の腐り方が非常におそいのです。

八、蒸気汽鐘等に、水道の水を使へば、水垢の附着かたが少なく、また鐵を腐蝕することも少ないので、汽鐘の保存もよく、又燃料の經濟にもなります。

日々水道料を拂つて、水を使うのは、一見不經濟のやうに考へる人があるかも知れませんが、前に記せし通り、病氣のときの損害や、總ての事に便利で、且つ經濟である點を能く比べて見たら、水道料は實に廉價いものです、凡そ一人の水道料は、一ヶ月僅に拾錢ぐらゐるのもので殆ど一度の菓子代に

も足らぬ程で済みます、また人一生涯のうちに、仕拂ふ總額は、凡そ人の一生を六十年間と見積つてもわずか六七十圓に過ぎません、此位の費用は、一度病へば直ぐかゝります、若しまた傳染病にかゝつたら、獨り自分一人の失費ばかりでなく、國や町の費用もかゝれば、他人の迷惑にもなります、故に自分の爲めにも、人の爲めにも、非常な利益になりますから、一日も早く水道をひくやうにしたいものです。



大正二年八月十七日印刷  
大正二年八月二十日發行

### 內務省衛生局

印刷者 東京市京橋區北橫町九番地 西 脇 嘉 市

印刷所 東京市京橋區北橫町八番地 一 成 社  
電話京橋八一三番



339  
209



終

